

令和 5 年 9 月 1 9 日

交 通 事 故 概 況

令和 5 年 8 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（8月末計上数（確定数））

1 令和5年8月中の交通事故発生状況

区分\内容	8月中	前年比	8月末	前年比
発生件数（件）	712	49	5,676	303
死者数（人）	16	5	80	13
傷者数（人）	800	33	6,644	384

[過去10年、8月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年
											10か年	5か年	
8月中死者	18	18	27	13	14	17	16	16	12	11	16	14	16
8月末死者	101	104	115	88	89	92	85	85	78	67	90	81	80
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—

都道府県別（8月中）

順位	1	2	4
都道府県名	北海道	東京	茨城
死者数	16	14	11

都道府県別（8月末）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	大阪	愛知	東京	北海道	千葉
死者数	103	93	82	80	74

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 8月中の死亡事故(死者16人)

- 事故類型別：車両単独が7人(43.8%)、人対車両が6人(37.5%)
- 道路別：国道が9人(56.3%)、市町村道が4人(25.0%)
- 地形・道路形状別：非市街地カーブが4人(25.0%)、市街地交差点、非市街地交差点、非市街地直線が各々3人(18.8%)
- 発生時間別：8～10時が3人(18.8%)、10～12時、12～14時、20～22時、22～24時が各々2人(12.5%)
- 第一当事者年齢別(第1当原付以上)：高齢運転者が8人(50.0%)、若年運転者、60～65歳の運転者が各々2人(12.5%)
- 第一当事者違反別(第1当原付以上)：前方不注意が5人(31.3%)、最高速度が3人(18.8%)
- 死者年齢別：高齢の死者が10人(62.5%)

(2) 8月末の死亡事故(死者80人)

- 事故類型別：
 - ・人対車両が24人30.0%（うち前方不注意が8人33.3%、歩行者妨害が5人20.8%）
 - ・車両単独が23人28.8%（うち前方不注意が10人43.5%、最高速度が6人26.1%）
 - ・正面衝突が21人26.3%（うち前方不注意が12人57.1%、最高速度が4人19.0%）
- 道路別：
 - ・国道が36人45.0%（うち正面衝突が12人33.3%、人対車両、車両単独が各々10人27.8%）
 - ・道道が22人27.5%（うち正面衝突、車両単独が各々6人27.3%、人対車両、出会い頭が各々5人22.7%）
- 地形・道路形状別：
 - ・非市街地カーブが23人28.8%（うち正面衝突が14人60.9%、車両単独が9人39.1%）
 - ・市街地交差点が22人27.5%（うち人対車両が14人63.6%、出会い頭が3人13.6%）
- 発生時間別：
 - ・10～12時が14人17.5%（うち正面衝突が8人57.1%、出会い頭が3人21.4%）
 - ・12～14時が10人12.5%（うち人対車両が4人40.0%、出会い頭が3人30.0%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：
 - ・高齢運転者による死者が23人28.8%（うち車両単独が10人43.5%、正面衝突が6人26.1%）
 - ・40歳代による死者が17人21.3%（うち人対車両が8人47.1%、出会い頭が5人29.4%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：
 - ・前方不注意が31人38.8%（うち正面衝突が12人38.7%、車両単独が10人32.3%）
 - ・最高速度が10人12.5%（うち車両単独が6人60.0%、正面衝突が4人40.0%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が33人41.3%（うち人対車両が15人45.5%、車両単独が9人27.3%）
 - ・50歳代の死者が12人15.0%（うち人対車両、正面衝突が各々4人33.3%、車両単独が3人25.0%）
- シートベルト着用者：
 - 自動車乗車中の死者43人中、シートベルト非着用者は11人(25.6%)であり、その内の7人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

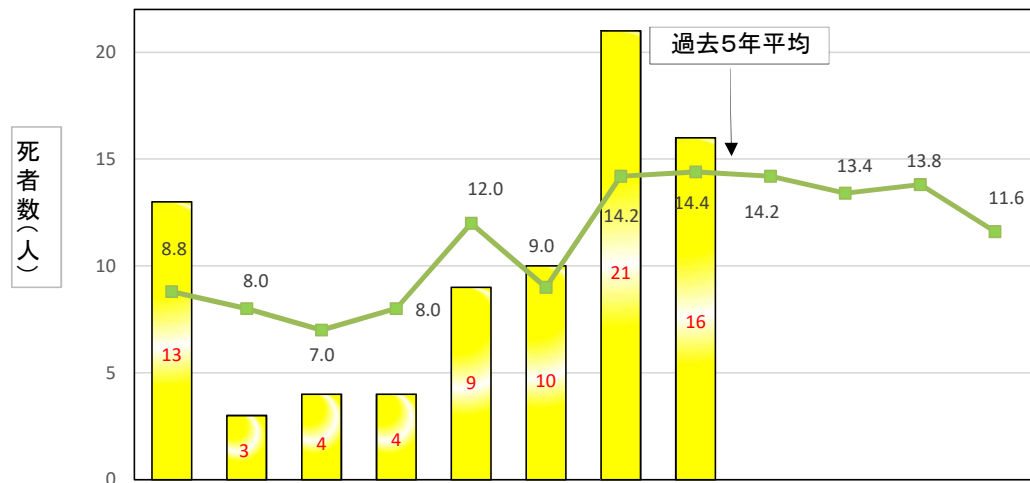
(3) 方面別発生状況

8月中の死者は札幌方面が9人(56.3%)、旭川方面が4人(25.0%)、釧路方面が3人(18.8%)となっている。
8月末の死者数は札幌方面が41人(51.3%)、釧路方面が14人(17.5%)、旭川方面が12人(15.0%)、函館方面が7人(8.8%)、北見方面が6人(7.5%)となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比		死者数	前年比		傷者数	前年比	
8月中	全道	712	49	16	5		800	33	
	札幌方面	509	5	9	3		570	-12	
	函館方面	44	3				55		
	旭川方面	56	4	4	2		60	5	
	釧路方面	82	31	3	1		89	31	
	北見方面	21	6		-1		26	9	
8月末	全道	5,676	303	80	13		6,644	384	
	札幌方面	4,195	182	41	2		4,893	244	
	函館方面	352	-36	7	4		430	-37	
	旭川方面	432	-4	12	-2		509	-23	
	釧路方面	546	150	14	5		624	184	
	北見方面	151	11	6	4		188	16	

(4) 月別発生状況の推移

8月中の死者は16人で過去5年平均14.4人を上回っている。
8月末の死者数は80人で過去平均81.4人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4	4	9	10	21	16					80
年間累計	13	16	20	24	33	43	64	80					
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(5) 都道府県別死者

8月中は北海道が16人で最も多く、次いで東京都、茨城県が各々14人、愛知県と静岡県が各々11人、福岡県と兵庫県が各々10人となっている。

8月末は大阪府が103人で最も多く、次いで愛知県が93人、東京都が82人、北海道は80人、千葉県が74人で5位となっている。

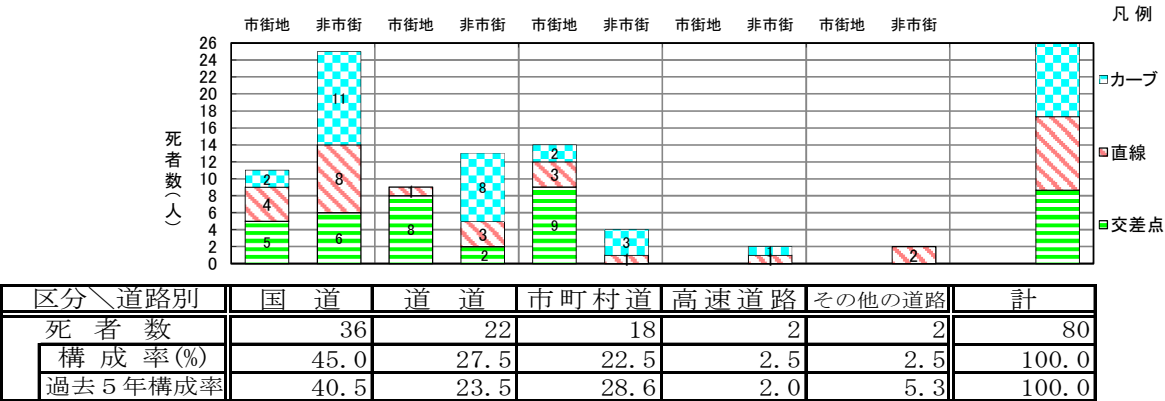
区分\都道府県	北海道	東京	茨城	愛知	静岡	福岡	兵庫	千葉	広島	岡山	全国
8月中死者数	16	14	14	11	11	10	10	8	8	8	241
ワースト順位	1	2	2	4	4	6	6	8	8	8	—
前年比	5	3	5	4	4	0	-1	0	0	2	11
増減率(%)	45.5	27.3	55.6	57.1	57.1	0.0	-9.1	0.0	0.0	33.3	4.8

区分\都道府県	大阪	愛知	東京	北海道	千葉	神奈川	埼玉	茨城	福岡	兵庫	全国
8月末死者数	103	93	82	80	74	71	68	64	63	60	1,659
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—
前年比	7	6	2	13	-2	1	0	17	17	-23	64
増減率(%)	7.3	6.9	2.5	19.4	-2.6	1.4	0.0	36.2	37.0	-27.7	4.0

3 死亡事故の特徴

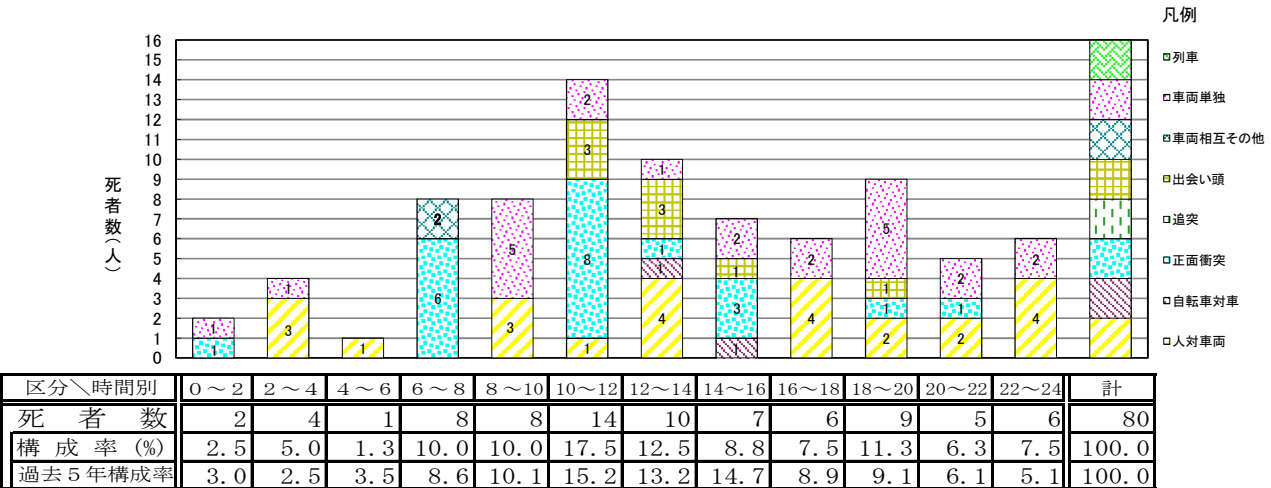
(1) 道路別

国道が36人(45.0%)、次いで道道が22人(27.5%)となっている。
・ 国道は非市街地カーブが11人(30.6%)、非市街地直線が8人(22.2%)
・ 道道は市街地交差点、非市街地カーブが各々8人(36.4%)



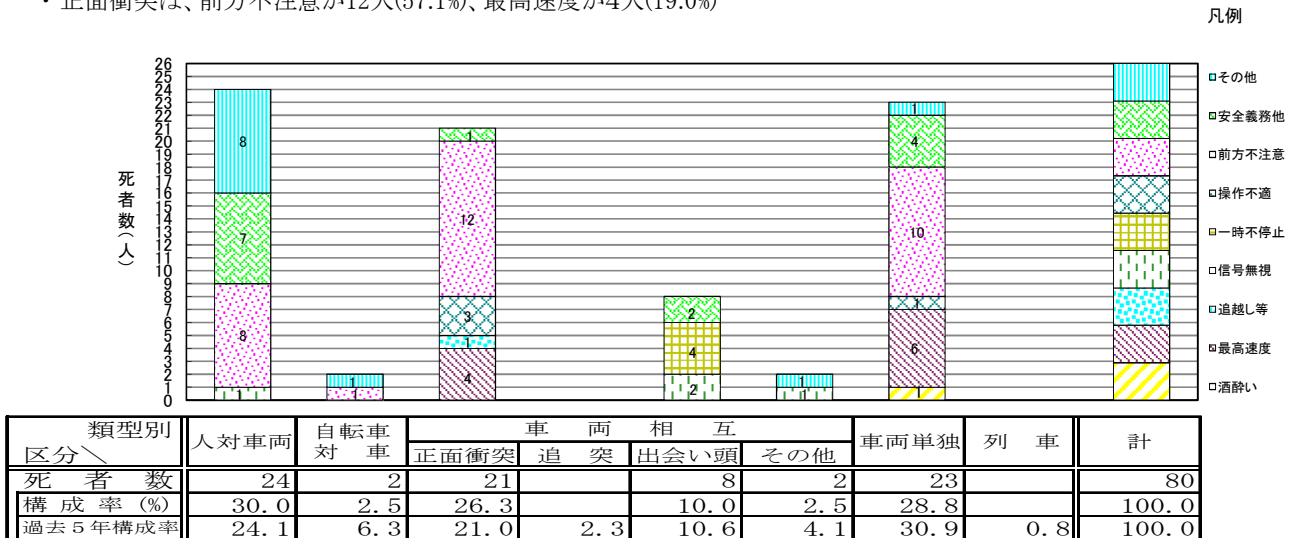
(2) 時間別

10～12時が14人(17.5%)、次いで12～14時が10人(12.5%)となっている。
・ 10～12時は正面衝突が8人(57.1%)、出会い頭が3人(21.4%)
・ 12～14時は人対車両が4人(40.0%)、出会い頭が3人(30.0%)



(3) 事故類型別

人対車両が24人(30.0%)、次いで車両単独が23人(28.8%)、正面衝突が21人(26.3%)となっている。
・ 人対車両は、前方不注意が8人(33.3%)
・ 車両単独は、前方不注意が10人(43.5%)、最高速度が6人(26.1%)
・ 正面衝突は、前方不注意が12人(57.1%)、最高速度が4人(19.0%)

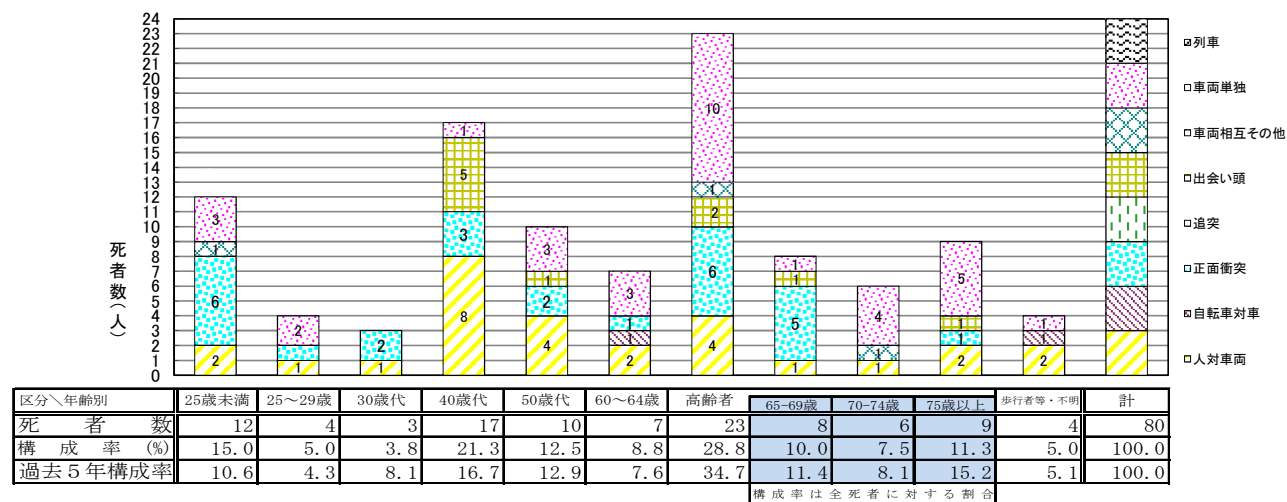


(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が23人(28.8%)、次いで40歳代の運転者によるものが17人(21.3%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が10人(43.5%)、正面衝突が6人(26.1%)
- ・ 40歳代の運転手は、人対車両が8人(47.1%)、出会い頭が5人(29.4%)

凡例

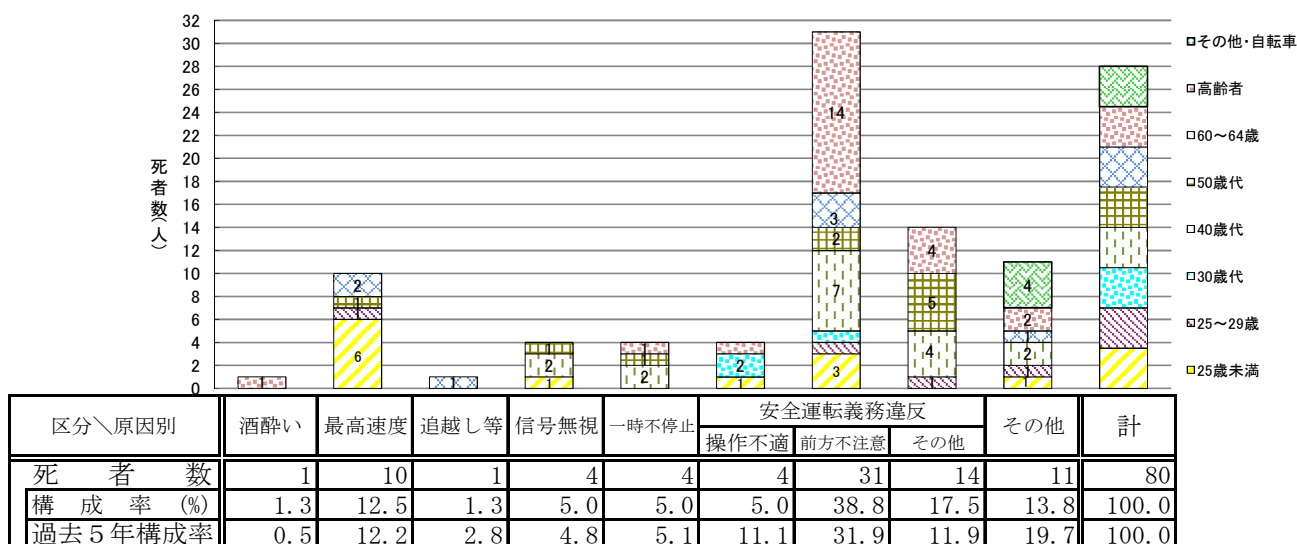


(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが31人(38.8%)、次いで最高速度によるものが10人(12.5%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者が14人(45.2%)、40歳代の運転者が7人(22.6%)
- ・ 最高速度は、若年運転者が6人(60.0%)

凡例

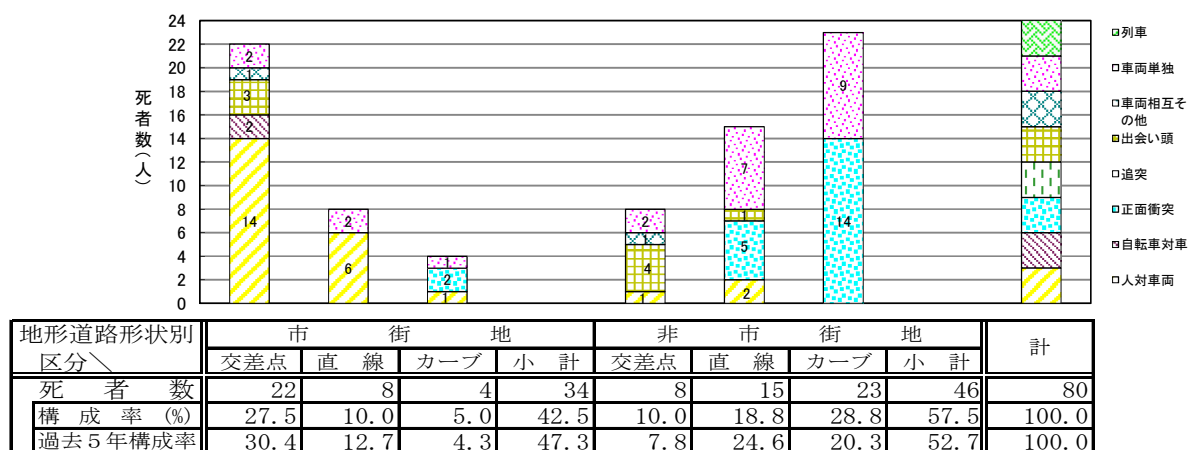


(6) 地形・道路形状別

非市街地カーブが23人(28.8%)、ついで市街地交差点が22人(27.5%)となっている。

- ・ 非市街地カーブは、正面衝突が14人(60.9%)、車両単独が9人(39.1%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両が14人(63.6%)、出会い頭が3人(13.6%)

凡例

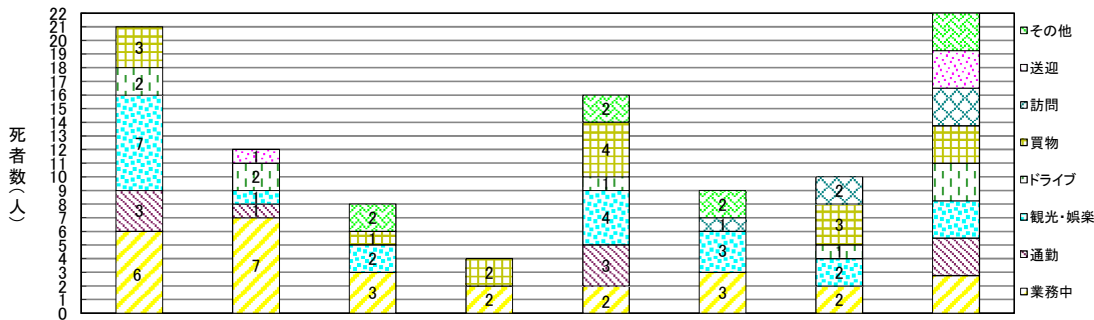


(7) 曜日別

日曜日が21人(26.3%)、次いで木曜日が16人(20.0%)となっている。

- ・ 日曜日は、観光・娯楽が7人(33.3%)、業務が6人(28.6%)
- ・ 木曜日は、観光・娯楽、買物が各々4人(25.0%)

凡例



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	21	12	8	4	16	9	10	80
構成率(%)	26.3	15.0	10.0	5.0	20.0	11.3	12.5	100.0
過去5年構成率	18.2	13.4	13.7	12.2	14.7	15.9	11.9	100.0

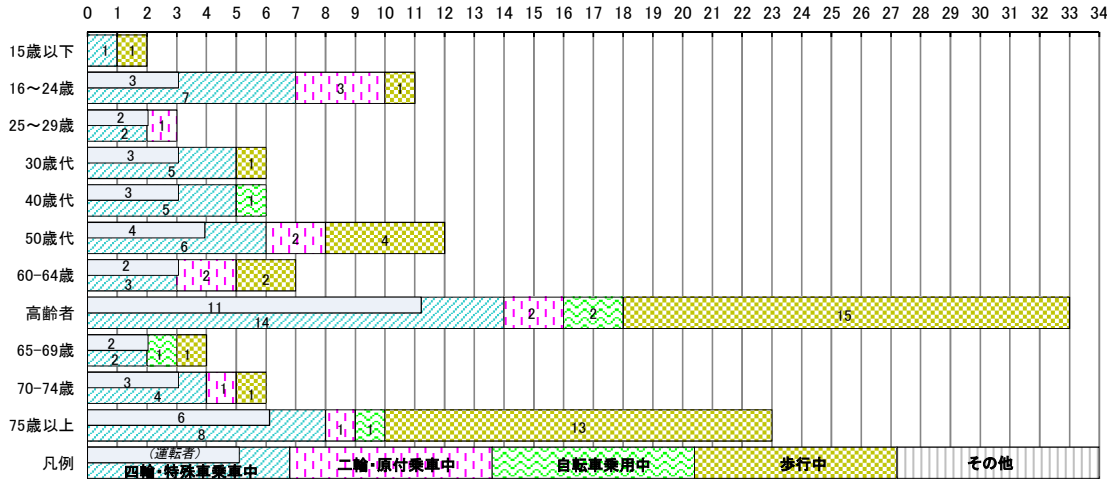
(8) 状態別・年齢層別

死者の年齢層別では、高齢者が33人(41.3%)で、うち75歳以上が23人(69.7%)となっている。

四輪乗車中の死者が43人(53.8%)、次いで歩行中の死者が24人(30.0%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、高齢者の死者が14人(32.6%)、50歳代の死者が6人(14.0%)
- ・ 歩行中は、高齢者の死者が15人(62.5%)、50歳代の死者が4人(16.7%)

死者数(人)



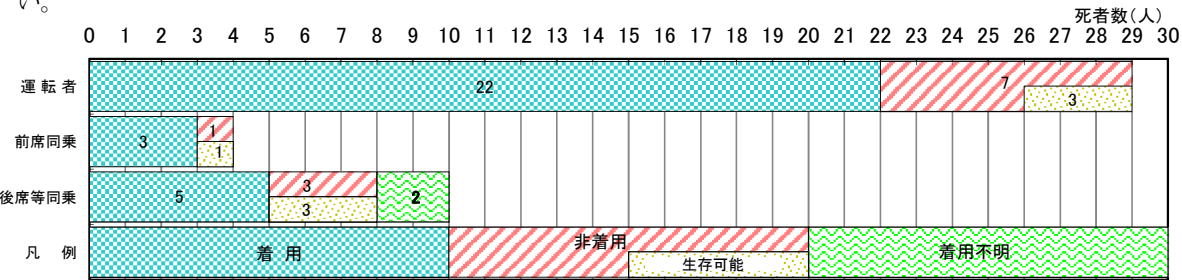
状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (原付を含む)	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数	1	0	0	1	0	2	2.5	2.5
16~24歳	死者数	7	3	0	1	0	11	13.8	7.3
25~29歳	死者数	2	1	0	0	0	3	3.8	3.3
30歳代	死者数	5	0	0	1	0	6	7.5	7.1
40歳代	死者数	5	0	1	0	0	6	7.5	9.9
50歳代	死者数	6	2	0	4	0	12	15.0	10.1
60~64歳	死者数	3	2	0	2	0	7	8.8	7.3
高齢者	死者数	14	2	2	15	0	33	41.3	52.4
65~69歳	死者数	2	0	1	1	0	4	5.0	11.6
70~74歳	死者数	4	1	0	1	0	6	7.5	9.6
75歳以上	死者数	8	1	1	13	0	23	28.8	31.1
計	死者数	43	10	3	24	0	80	100.0	—
	構成率	53.8	12.5	3.8	30.0	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	53.9	13.7	7.6	24.3	0.5	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者43人中、シートベルト非着用者は11人(25.6%)となっている。
非着用者の11人のうち、7人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分		着 用					非 着 用					着 用 明 不		
		四 輪 乗 車 中 等	計	運 転 者			計	運 転 者			同 乗 者 (後 部 席) 生 存 可			
				同 乗 者 助 手 席	同 乗 者 後 部 席	同 乗 者 (助 手 席) 生 存 可		同 乗 者 (後 部 席) 生 存 可						
令和 5 年		43	30	22	3	5	11	7	3	1	1	3	3	2
構成率 (%)		100.0	69.8	73.3	10.0	16.7	25.6	63.6	42.9	9.1	1	27.3	3	4.7

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が4人(36.4%)、60～64歳が2人(18.2%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
シートベルト着用	7	1	4	4	3	1	10	2	2	6		30
構成率(%)	23.3	3.3	13.3	13.3	10.0	3.3	33.3	6.7	6.7	20.0		100.0
シートベルト非着用	1	1	1	1	1	2	4		2	2		11
構成率(%)	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	36.4		18.2	18.2		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。
着用不明を除く。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者11人の損傷加害部位をみると座席、車内他が各々2人(18.2%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
シートベルト着用			11	1	1	4	1		4	5	2	29
構成率(%)			37.9	3.4	3.4	13.8	3.4		13.8	17.2	6.9	100.0
シートベルト非着用	1	1	1		1			1	2	2	2	11
構成率(%)	9.1	9.1	9.1		9.1			9.1	18.2	18.2	18.2	100.0
運転者		1	1		1			1			2	6
構成率(%)		9.1	9.1		9.1			9.1			18.2	54.5
同乗者	1								2	2		5
構成率(%)	9.1								18.2	18.2		45.5

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。
着用不明を除く。